

2023年4月21日

## 再生可能エネルギーの利活用における サプライチェーン企業とのCO2排出量削減の実証実験を開始

東京都・（公財）東京都環境公社が実施する  
「新エネルギー推進に係る技術開発支援事業」の初採択事業に決定

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井阪 隆一）は、CO2排出量削減の取り組みとして、食品メーカー様および物流業者様等と連携した事業スキーム「再生可能エネルギーの利活用における小売業サプライチェーン脱炭素化循環モデル事業」を構築し、実証実験を開始いたします。

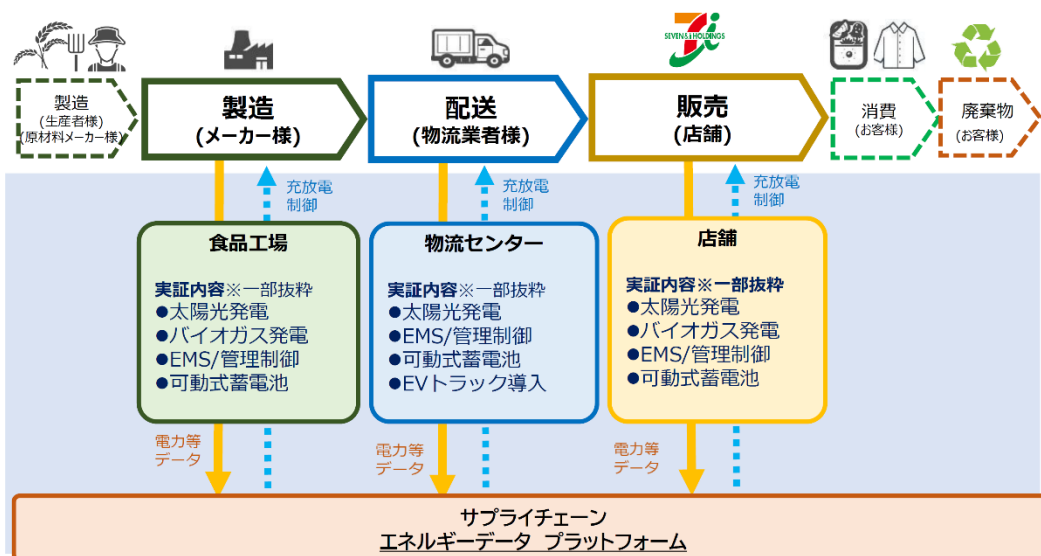
セブン&アイグループでは、グループの店舗運営に伴うCO2排出量削減を進めており、グループを取り巻くサプライチェーンにおいても、各社ごとの取り組みを推進しています。脱炭素社会の実現にあたり、サプライチェーンが一体となった取り組みが重要であるとの認識のもと、製造・配送・販売が協働するCO2排出量削減のスキームを今回初めて構築し、脱炭素化をより加速させる事業モデルの実証実験に取り組みます。本実証では、各所において再生可能エネルギーの利活用を中心に効果を検証いたします。

なお、今回の実証は、東京都および（公財）東京都環境公社が実施する「新エネルギーの推進に係る技術開発支援事業」に採択されたことにより、東京都および（公財）東京都環境公社の支援を受けることで可能となりました。都内を中心とした検証から、今後の全国拡大を視野に入れたスキーム構築に取り組んでまいります。

### <事業概要>

都内のセブン&アイグループ店舗およびお取引先様である食品工場、物流センターを拠点としたEVトラック、太陽光発電、バイオガス発電等の「再生可能エネルギー」の利活用によるエネルギー管理の実証

### サプライチェーン全体での脱炭素化実現に向けた事業モデルの検討



セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』

[https://www.7andi.com/sustainability/g\\_challenge/](https://www.7andi.com/sustainability/g_challenge/)

以上